

平成 29 年度 幕別町地域公共交通確保対策協議会第 2 回分科会会議録

1 開催日時

平成29年12月 7 日（木）午前10時00分～午前11時35分

2 開催場所

幕別町役場 2－B会議室

3 出席者等

(1) 委員：11名

所 属 等	氏 名	備 考
幕別地区公区長代表	高 島 政由	
札内地区公区長代表	工 藤 伸	
札内地区公区長代表	白 木 孝和	
南幕別地区公区長代表	高 嶋 甲爾	
忠類地区公区長代表	佐 藤 博志	
幕別町商工会	八 代 芳雄(代理)	副分科会長
幕別町社会福祉協議会	林 郁男	分科会長
幕別町民生委員児童委員協議会	大 石 洋子	
幕別町消費者協会	永 井 ケイ子	
幕別町老人クラブ連合会	岡 田 益美	
幕別町障害者（児）団体連絡協議会	大 谷 静子	
計	11名	

(2) 事務局：3名(天羽課長、森係長、山元主任)

4 会議次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議件

① 議案第 2 号 コミュニティバス(幕別線)の運行形態(案)について

② 議案第 3 号 コミュニティバス(札内線)の運行形態(案)について

(4) その他

(5) 閉会

5 議事の結果

(1) 議件

議案第 2 号 コミュニティバス(幕別線)の運行形態(案)について

前回の分科会において、アンケート調査結果等を踏まえ、事務局で案を作成し、協議することとなったため、別紙 1－1～3 のとおり案を説明した。

後日、意見があれば、平成29年12月13日(水)までに事務局宛に提出いただき、それらの意見も踏まえ、次回分科会において、再度、協議し、承認をいただくこととなった。

【質疑あり～次回分科会で引き続き協議】

委員 路線変更に伴い、バス停がなくなる箇所について、問題ないのか。

事務局 すぐ近くに新たに停留所を設置する等、大きく不便にならないような案となっている。

委員 平成24年度の試験運行時に、冬の除雪の関係で、バスが通れないのではということで取りやめた路線も、今回新たな路線となっているが、問題ないのか。

事務局 事前に運行事業者と、現地を確認した結果、問題ないとの判断をいただいた。

委員 幕別高校の方向にも新たに路線が伸びているが、現在の路線バスとの競合は問題ないのか。

事務局 その路線も含めて、運行事業者と現地を確認したが、問題ないとのことだった。

分科会長 他に何か意見があれば、来週13日(水)までに事務局宛に提出して欲しい。

それらも含めて、次回、再度協議し、承認をいただく。

議案第3号 コミュニティバス(札内線)の運行形態(案)について

前回の分科会において、アンケート調査結果等を踏まえ、事務局で案を作成し、協議することとなったため、別紙2-1~5のとおり、2通りの案を説明し、別紙3のとおりフリー乗降制度の概要説明も併せて行った。

分科会の方向性としては、案1のとおりとなったが、案1に対して、後日、意見があれば、平成29年12月13日(水)までに事務局宛に提出いただき、次回分科会において、それらの意見も踏まえ、再度、協議し、承認をいただくこととなった。

【質疑あり～次回分科会で引き続き協議】

委員 お店の開店時間等には合っているのか。

事務局 開店前のお店については、わざわざそこまでは周らないように、横線としている。

委員 増台することは決定事項か。

事務局 決定ではない。あくまでも最終決定は協議会となる。

まずは分科会で協議いただき、その結果を協議会にて報告し、その場で最終決定となるが、アンケート調査結果を踏まえると、増台をするのが良いと事務局として判断し、案を作成した。

委員 増台する場合、乗車人数の関係から、現行のまくバスを札内に、小型車輛を幕別線に導入することも検討した方が良い。

分科会長 案1、案2、どちらの方向性で行くと良いか、意見を伺う。

委員 案2は、2つに分断されており、どうかと思う。

委員 利用者が困らない、路線を理解しやすいことが大事と考えるので、案1が良いかと思う。また、利用者本人の自助努力が大切。

事務局 利用者本人がどう利用したら良いかを考えていただけるのは大変ありがたいが、事務局としても、今後もPRに力をいれる。

委員 最も理解をしている事務局としては、どちらの案でいきたいのか、どのような意向を持っているのか。

事務局 案別の比較表にもあるように、利用者がよりメリットを感じられるのは案1と考えている。

委員 事務局が最も理解しているので、事務局の意向どおりではどうか。

全委員 よろしい。

分科会長 では、分科会の方向性としては案1として、他に何か意見があれば、来週13日(水)までに事務局宛に提出して欲しい。
それらも含めて、次回、再度協議、承認をいただく。

(2) その他

次回分科会にて、再度、運行形態を協議し、分科会としての案を決定、その後、フリー乗降の実施有無や割引制度について、協議を行うこととなった。

以 上